

令和5年度 大津島地区コミュニティ推進協議会 事業計画書（案）

1. 基本方針

大津島地区の人口減少・高齢化が進む中、各団体と連携してお互いに助け合い、心豊かに暮らせるふるさとづくりを目指す。

2. 事業計画と内容

項目	内容
① 生活環境の改善	航路、島内交通改善など環境整備を促進するとともに、主要幹線道路の維持管理を行う。
② 定住化の促進	空き家など移住者対策に活用可能なものを把握するとともに、里の案内人事業を推進する。
③ 人口減少の抑制	若潮の会と協力して地域での奉仕作業を実施し、景観や居住環境の維持に努める。
④ UJI ターンの促進	UJI ターン促進イベント「アイランダー」へ参加し、島を PR することで移住希望者に周知する。
⑤ 生活支援サービス事業の推進	島の生活の困りごとを解決するため、生活支援サービスセンター「しまさぽ」を運営し、無理のない範囲でリクエストに応えられる体制とする。
⑥ 福祉対策の充実	超高齢化地区であることを踏まえ、みんなで助け合い、安心して暮らせる福祉の風土づくりと施設の整備を図る。 「道の駅ソーラーネ周南」と連携し、買い物支援事業を継続する。
⑦ 健康安全の推進	交通安全や、食の安全対策の推進と、スポーツ振興を図る。
⑧ 生涯学習の推進	伝承文化の継承・保存を図る。
⑨ 広報活動の推進	コミュニティ紙「潮流」等を発行することにより、島内外において島の情報と課題を共有する。
⑩ 交流活動の推進	また、若潮の会と協力して情報発信を強化する。 拓殖大学ほかのゼミ学生と連携し「域学連携事業」「情報発信」「イベント」を継続することで、島の魅力を発信するとともに都市部との交流を深める。
⑪ 関係人口の強化	地域の担い手として、島の応援者（学生、島外在住者等）を積極的に呼び込み、在住者と共に地域づくりを担うことのできる環境を構築する。すだいだい収穫やキッチンカーなど、大津島ならではのイベントを企画し、島と行き来する機会を設ける。
⑫ 観光資源の保全や運営	回天関連施設、ガマ群生地、十人墓、七人墓等の歴史文化遺産や、自然・風致などの観光資源の保全管理に努める。
⑬ 離島新産業の推進	大津島の特色を活かした、産物の維持と開発を進める。
⑭ 環境の保全・再生	人と環境に優しい地域を目指し、花壇の整備等を推進する。
⑮ 自主防災組織の育成・強化	消防団と連携した自主防災活動を充実させ、安心・安全に暮らすことのできる地域づくりを推進する。
⑯ 記録の管理活用・伝承	過去から現在までの“島のあゆみ”を、記録として収集・整理・管理し、適正に活用・伝承できる仕組みを整える。